

篠ちゃんだより

45号
13.11.15

阿久津市長施政方針説明

阿久津市長から、2期目の市政運営に当たり、施政方針の説明がされました。主な内容は次の通りです。

一 地域医療体制の確立

渋川総合病院と西群馬病院の再編統合を進め、再編後の新病院を北毛地区の地域医療の核として、市民の皆さんが安心して暮らせる地域医療体制の充実。

二 健康づくりと地域福祉・教育の充実

市民の皆さんにスポーツに親しむ機会を拡大し、心身の健康づくりを推進。また、スポーツを核とした地域コミュニティの構築を図り、健康で元気なまちづくり。

少子・高齢化が進展する中、子供から高齢者、障害のある人も、すべての市民の皆さんが地域において、いきいきとした暮らしができるように、地域福祉の充実。

子育てに関する相談体制の充実、出産・育児・子育てへの負担軽減を図り、子育て世代を支援することも、子供を産み育てやすい環境づくり。

子供たちの学習環境を整えるために、小中学校の再編統合の支援を行うとともに教育環境の充実。

三 観光・地域産業の振興

県や関係機関と連携を図り、積極的な企業誘致を進めるとともに、地場産業の振興を支援。また、商業イベントへの支援を図り、地元消費の拡大を推進。

選別農薬農法や竹炭を活用した農作物の栽培等を引き続き促進し、安全性や高付加価値のある農作物の生産を目指した渋川ブランドを確立することにより、農業所得の向上を図り農業後継者の育成・確保。

伊香保温泉を核とし、市内各地区の観光資源の一体的なアピールと観光ルートづくりの推進。県や観光協会などの関係団体、観光大使と連携し、国内のみならずアジア諸国をターゲットに観光客の誘致を促進。

四 文化スポーツの振興

各種スポーツ大会や合宿の誘致を行い、伊香保温泉など市内の宿泊施設と連携し、体育施設や公園施設などの有効活用を図り、また、プロスポーツ競技の開催を積極的に誘致するなど、スポーツ交流人口の拡大。

県との連携により、学術的に高く評価されている金井東裏遺跡の情報を提供するとともに、市内に点在する史跡等の歴史的資産の活用を図る。

議員全員協議会報告

渋川市バイオマス活用推進計画の策定

地域に豊富に存在するバイオマスの活用は、地域ビジネス展開と新たな業態の創出を促す取り組みの一つであり、地域に新たな付加価値を創出し、雇用と所得を確保するとともに、活力あるまちづくりにつながるものと期待されます。

さらに、県が本市（渋川県産材センター近隣）で木質バイオマス発電施設整備を計画していること、民間事業者が

9月定例会開催される

9月定例会が9月17日から10月9日まで開催され、慎重審議の結果、議案は原案の通り可決されました。主な内容は次の通りです。

前橋・渋川シティマラソン実施

「第1回 前橋・渋川シティマラソン」が平成26年4月20日(日)に開催されます。渋川市内は、渋川駅前市役所通りを全面封鎖し、2000人のランナーが駆け抜けるシティマラソンならではの光景が展開されます。

種目は、マラソン(2000人)、10km(2500人)、5km(中学生500人・一般2000人)、3km(小学生1000人)、ファミリージョギング(親子ペア350組)です。フルマラソンは、11月7日で定員に達したため、申込みを締め切りました。

参加料は、マラソン(6000円)、10km(3500円)、5km(中学生1500円・一般2500円)、3km(1000円)、ファミリージョギング(3500円/組)です。

9月定例会で補助金として、150万円の補正がされました。



市役所第二庁舎から渋川駅方面



コースレイアウト図



渋川市議会議員
しのだ 徳寿

〔後援会事務所〕

大同特殊鋼(株) 渋川工場労働組合内
TEL 0279-23-5198
FAX 0279-24-3820
ホームページ
<http://geo.t-shinochan55.com/>
篠田徳寿でも検索できます。

市内飲料メーカーからのコーヒー粉や茶殻などの飲料残渣を乾燥・成型させ発電に利用する計画などがあり、市としてバイオマスの活用を計画的に方向付けする必要が生じてきています。

このようなことから、渋川市環境基本計画及び渋川市地域新エネルギービジョンに基づき、本市では多種多様なバイオマスの中から本市の地域特性に適したバイオマスについて計画を策定し、バイオマスの活用に取り組むものです。

策定スケジュールは、平成25年度に計画(素案)の策定・検討を行い、平成26年3月に計画(案)の報告となります。

渋川市特別養護老人ホーム清流の郷 民営化移譲法人の選定について

渋川市特別養護老人ホーム清流の郷民営化(民間移管)の移譲法人の公募を行った結果、3法人から応募があり、候補者選定委員会において、候補者を選考し、その結果を踏まえ民営化移譲法人を選定しました。選定した法人は、社会福祉法人「永光会」です。選定方法は、選定基準に基づき、各選定委員会による運営能力評価の点数評価及び価格評価の合計得点により、最も評点の高い法人を移譲候補者として選定しました。

清流の郷は、建設費で9億3000万円+備品、起債の償還残額は2億9900万です。合計得点評価において、運営能力評価が8分の7に対し、価格評価が8分の1では配分が低すぎるのではないかなどの質疑がされましたが、清流の郷は福祉サービス施設であり、価格は1つの要素である。価格よりも運営能力を重視しているとの答弁がされました。市有地については無償貸与の考えが示されています。

平成24年度決算報告

一般会計決算額

- ・歳入：352億1959万4000円
- ・歳出：330億4937万2000円
- ・不納欠損額：1億2308万2000円
- ・収入未済額：21億5176万6000円

市税の状況(市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・特別土地保有税・入湯税・都市計画税)

- ・収入済額：109億5245万6000円
- ・収入未済額：11億5255万円
- (滞納繰越分：9億2707万4000円)
- ・不納欠損額：1億2179万9000円

財政分析調(普通会計)

- ・財政力指数：0.62
- ・経常収支比率：90.3
- ・公債費負担比率：12.1
- ・実質公債費比率：9.0

普通会計貸借対照表の概要

- ・資産の総額：1499億3279万4000円

- (市民一人当たり：約180万円)
- ・負債の総額：380億3879万3000円
- (市民一人当たり：45万7000円)

市債の状況

- ・普通会計未償還残高：319億6693万5000円
- ・特別会計未償還残高：303億254万3000円
- ・未償還残高の合計：622億6947万8000円
- (市民一人当たり：74万8000円)

主な歳出の状況

- ・総務費：43億9814万円(13.3%)
 - ・民生費：103億4403万円(31.3%)
 - ・衛生費：28億8179万円(8.7%)
 - ・農林水産業費：16億2852万円(4.9%)
 - ・商工費：9億7964万円(3.0%)
 - ・土木費：33億1721万円(10.0%)
 - ・消防費：16億9571万円(5.1%)
 - ・教育費：43億3197万円(13.1%)
 - ・公債費：31億2898万円(9.5%)
- #### 特別会計決算状況
- ・歳入：223億8273万8000円
 - ・歳出：215億4937万6000円
 - ・一般会計からの繰入：32億3599万4000円
 - ・一般会計への繰出し：592万9000円
 - ・不納欠損額：1億4002万8000円
 - ・病院事業会計未処理欠損金：14億4090万円
 - (当年度純損失額：1億3146万円)

地域の出来事



市民教育の日



豊秋地区防災訓練



渋川市防災訓練



渋川市公民館社会教育研修会